平成２９年度事業報告書

平成 30 年 5 月 22 日
(2018.5.22)

公益財団法人
日本ユースリーダー協会
DEVELOPMENT ASSOCIATION FOR YOUTHLEADERS

平成２９年度　期初事業計画

平成２９年度事業計画　（H29.3.27／H28 年度第 4 回理事会承認）

◆新3ヵ年計画（2016～2018）の２年目

事業（活動）コンセプトは、 ***飛び出せ若者！！***

1. ユースリーダー育成事業

（1）明日のリーダーをアジアで育てる海外研修
①「グローバル・エデュケーション・ツアー（GET）」（日本→ASEAN）
②「JICA大学生（受託）」（日本大学生→途上国）

（2）アジアのリーダーを育てる来日研修
①「さくらサイエンスプラン」（アジア→日本）

（3）グローバル対応企業人を育てる国内研修
①「異業種交流研修会」（中堅幹部社員向け）
②「若手研修会」（若手社員向け）
③「アジアの会（大阪）」（一般向け）
④「親子体験学習」（小学生向け）

（4）その他支援（後援）活動

2. 社会啓発事業

（1）若者が挑戦できる社会づくりへ
①「（第9回）若者力大賞」（表彰式の実施）
②「（第2回若者力大賞受賞者講演会」（過去受賞者による講演会の実施）
③「広報活動」（広報誌・H／P）

3. 海外交流ネットワーク事業

（1）「AJAFA－21との交流」（ASEAN10 か国の交流組織）
（2）「調査研究／若者市場調査」（日本とASEAN諸国の意識調査）

平成２９年度　事業報告

Ⅰ．ユースリーダー育成事業

【１】海外研修事業

①「ＧＥＴ（Global Education Tour）」（短期海外研修）の実施

◆世界のグローバル化が進む中で、日本の若者の内向き志向が心配されています。そこで、閉じこもりがちな日本の若者を、まずは一度、外へ飛び出させようという目的で、**GET（Global Education Tour）プログラム**を 2012 年度から実施しています。AJAFA-21（14ﾍﾟｰｼﾞ参照）の協力を得て、今年度も、春と夏の２回にわたって、合計3コースの海外研修を実施いたしました。

■ＧＥＴ　海外研修の基本プログラム　（８日間）

日程		プログラム内容
1	朝	東京（羽田又は成田）から出発
	昼	現地へ移動
	夕	現地到着、オリエンテーション、現地友好団体によるプレゼンテーション、現地学生との顔合わせ
2	朝	**ミッション1「ホームステイ」**ホストファミリーとの顔合わせ
	昼	ミッション1「ホームステイ」ホストファミリーの家へ
	夕	ミッション1「ホームステイ」ホストファミリー宅宿泊
3	朝	ホストファミリーと市内観光など
	昼	「ホームステイ」振り返り
	夕	**ミッション2「小学校授業」**準備、現地学生との共同作業
4	朝	ミッション2「小学校授業」実施、子供たちと遊ぶ
	昼	ミッション2「小学校授業」振り返り、個人面談
	夕	現地学生と街散策（グループ自由行動）
5	朝	国際交流・協力機関訪問
	昼	現地日本企業訪問
	夕	**ミッション3「現地での意識調査」**準備
6	朝	ミッション3「現地での意識調査」実施
	昼	ミッション3「現地での意識調査」実施
	夕	サンクスディナー
7	朝	デイトリップ（世界遺産や代表的な観光地へ）
	昼	デイトリップ（世界遺産や代表的な観光地へ）
	夕	デイトリップ（世界遺産や代表的な観光地へ）
8	朝	日本へ帰国
	―	東京（羽田又は成田）に到着
	―	

＜ホームステイ＞

＜小学校で日本を伝える授業＞

＜キャンパスで現地学生意識調査＞

■GET2017実施概況

◇参加者：39名（夏ミャンマー：8名／夏ベトナム21名／春インドネシア：10名）
◇同行スタッフ：夏ミャンマー：3名／夏ベトナム：3名／春インドネシア：3名
◇参加費：149，800円（渡航費・宿泊費・研修費等）
◇2017年度参加学生所属校：
（大学）中央大・日本大・法政大・上智大・東京国際大・東京経済大・東京農大・会津大
（高校）中大杉並・和光国際・品川女子・城西高・区立九段・慶應女子・東大付属
順天高・調布北・永山高

（ｉ）「2017 夏ＧＥＴ（ミャンマー・コース）」実施 ―――― （H29.8.4-11）

2017 夏・ミャンマーコースには、高校生・大学生合わせて 8 名が参加。（大学生・男 4 名／高校生・女 4 名）

事前研修会を 7/16 に開催し、学生たちは 2 つのグループに分かれて、次の3つのミッションの準備に取り組みます。
①友達作り（ホームステイ）
②現地小学生への授業（日本を伝える）
③フィールドスタディ（若者意識調査）

＜大家族に迎えられて＞

そしていよいよ 8/4 から 8 日間の日程で、ミャンマー・ヤンゴンで現地研修を実施。グループごとに、行く前から3つの課題に取り組み、その中でも小学生への授業に各チームとも工夫を凝らして臨みました。授業の後、小学生たちからのサイン攻めにあって、学生たちは驚きと感激で一杯。そのほかにホームステイ（1 泊）や JICA 事務所への訪問、現地学生の意識調査や、日本語を学ぶ学生たちとの交流も行われました。

＜小学生に日本を伝える＞

帰国後の 9/10 に事後研修会が行われ、協会役員や教師、保護者の方々を前に、それぞれのグループごとに課題の発表を行い、評価をいただきました。
緊張の中にも、全員、行く前とは見違えるような、自信に満ちた表情にあふれていました。

＜大学キャンパスでインタビュー＞

（ⅱ）「2017 夏ＧＥＴ（ベトナム・コース）」実施 ―――――― （H29.8.18-25）

2017 夏・ベトナムコースには、高校生・大学生合わせて 21 名が参加。（大学生・男 5 名、女 6 名／高校生・男 4 名、女 6 名）
事前研修会を、ミャンマーコースと合同で 7/16 に開催。
学生たちは 5 つのグループに分かれて、ミャンマー同様 3 つのミッションに取り組みました。（※ミッションはミャンマーと同じ）

＜事前研修。まずは自己紹介から＞

そして 8/18 から8日間の日程で、ベトナム・ハノイでの研修を実施。

ホームステイ（1泊）や現地の小学生に日本のことを伝える授業、さらには現地学生への街頭インタビューで、若者たちの意識調査に取り組みました。
日本語を学ぶ現地の学生と一緒にミッションに取り組み、共同作業の中から、深い友情が芽生えてきました。

＜2 人ペアでホームステイ＞

帰国後の 9/10 に、ミャンマーコースと合同で事後研修会が行われ、全員、修了証を授与されて晴れ晴れとした笑顔に包まれました。

（iii）「2018 春ＧＥＴ（インドネシア・コース）」実施 ――――――（H30. 3. 22-29）

今年度第 3 回目の「2018 春GET」は、インドネシア・コースを実施しました。

通算で 17 回目となる今回のインドネシア・コースには、10 名が参加。（大学生・男 1 名、女 4 名／高校生・男 1 名、女 4 名）
海外は初めてという参加者が、今回も半数（5 名）を数え、仲間たちに助けられながら飛び出しました。

＜さあ、出発！＞

渡航前の 2/25 の事前研修会で、みんな初めて顔を合わせ、2 つのグループに分かれて3つのミッションに取り組みました。

そして 3/22 から 29 日までの 8 日間の日程で、インドネシア・ジョグジャカルタで研修を実施いたしました。

＜現地学生と授業の準備＞

＜ホストファミリーに歓迎されて＞

＜小学校では国旗でお出迎え＞

＜キャンパスで大学生の意識を聞く＞

帰国後の 4/15 に、事後研修会を実施しました。
学校の先生や保護者の方々、そして協会理事長をはじめ、役員の揃った前で、ひとりひとり緊張しながら発表。

※（注記）期初計画の「JICA 大学生スタディプログラム」（受託）は、実施が見送られました。

【２】来日研修事業

①「さくらサイエンスプラン（日本・アジア青少年サイエンス交流事業）」の実施

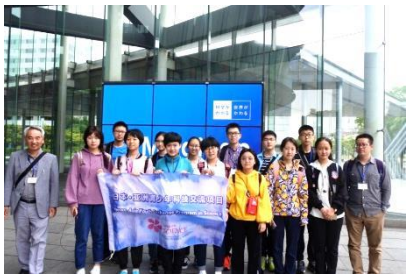
◆「さくらサイエンスプラン」は、国立研究開発法人科学技術振興機構（JST）が、2014 年から行っている研修支援プログラムで、アジアの青少年が日本の科学技術を学び、さらに日本の同世代との交流を深めあう目的で行う来日研修に対して、その研修費用の提供を行っています。
今年度も、同プランを活用して2か国からの来日研修の受け入れを実施いたしました。

（ｉ）「中国（西安）高校生　来日研修」実施――――――――――　(H29.10.1-7)

中国陝西省から13名の高校生（男4名、女9名）と1名の引率者の計14名を迎え、科学技術交流のプログラムを実施しました。

中国国慶節の連休を利用して来日した高校生たちは、西安科学技術局より選ばれた優秀な学生で、7日間の短期間でしたが、研修中は、産業、宇宙開発、エネルギー、地球環境、ロボット技術などの各視点から日本の科学技術を学びました。

また品川女子学院を訪問して、部活動などを体験するなど、同世代のお互いの理解を深めました。



★左上から右回り・・・「科学技術未来館」「新日鐵住金・鹿島製鐵所」「品川女子学院で交流昼食会」「修了式」

（ⅱ）「ミャンマー・大学生　来日研修」実施 ――――――――― (H30.2.24-3.2)

当協会の重要なパートナーである AJAFA-21 のJAAM（ミャンマー）の協力により、ミャンマーから 15 名（男6名、女 9 名）の大学生が来日し、引率された Mr.Aung Din（JAAM 会長）の統率のもと研修を行いました。

来日初日は、東京経済大の学生との交流プログラムが組まれ、その後、各施設の見学や、先端技術のレクチャーを受けるなど、短期間とはいえ充実した研修を行いました。

最終日には、2017 夏の GET・ミャンマーコース（3ページ参照）に参加した日本学生も合流し、交流を深めました。

★左上から右回り・・・「気温 6℃の成田到着」「東京経済大の学生との交流（ラーメン博物館）」「NEDO でレクチャー」「水戸太陽光発電所」「修了式（正装で）」

【３】国内研修事業

①「異業種交流研修会」の定例開催

◆法人会員や一般企業の中堅幹部クラスを対象として毎年開催している「異業種交流研修会」。今年度は 7 月と 12 月の 2 回開催いたしました。
毎回 30～40 名の参加を得て、講演の後は講師を囲んでの懇親会に。

（ｉ）第２７回開催 ―――――――――――――――――――― (H29. 7. 31)

通算第 27 回目となる異業種交流研修会は、会場を JX ホールディングス本社の会議室をお借りして、講師には、江ノ島マリンコーポレーション・堀一久社長様をお迎えして開催いたしました。（参加者：34 名）
テーマは、「新江ノ島水族館の事業の歩み～イルカと共に～」と題して、野生の生命（いのち）あるものの保全の大切さや繁殖の難しさなど、水族館事業にまつわるお話をお伺いいたしました。

（ⅱ）第２８回開催 ―――――――――――――――――――― (H29. 12. 4)

続いて第 28 回目の異業種交流研修会は、川崎重工業・元副社長の松本　新様を講師にお迎えし、金子周平様（同志社大院・元教授）にファシリテイターをお願いして開催いたしました。
（会場：JXTG ホールディングス　参加者：42 名）
「日本経済のこれからの戦略」と題して、アベノミクスを賛否両論から分析、これからの見通しをご講演いただきました。

②「若手研修会」の定例開催

◆企業の若手社員（20～30 代）を対象とした「若手研修会」は、異業種の会社訪問や工場見学など、目で見て体感で学ぶ研修を毎年行っています。

（ｉ）第 10 回開催 ―――――――――――――――――――――― （H29. 4. 12）

第 10 回目の「若手研修会」は、日本史上を代表する実業家であり、数多くの功績を遺された渋沢栄一翁に学ぶとして、東京・王子の渋沢史料館の見学と、渋沢健氏（ｼﾌﾞｻﾜ・ｱﾝﾄﾞ・ｶﾝﾊﾟﾆｰ代表）による「渋沢栄一の「論語と算盤」で未来を拓く」と題してご講演を伺いました。（参加者・23名）

（ⅱ）第 11 回開催 ―――――――――――――――――――――― （H29. 9. 29）

第 11 回は「食育」をテーマに取り上げて服部栄養専門学校を訪問。
「食育～人を良くする“食”の魅力～」と題して、服部津貴子氏（服部栄養料理研究会・会長）から講話をお聞きした後、調理実習に挑戦しました。
（参加者：20名）

③「アジアの会」(大阪)定例開催

◆2004 年から続けているアジアをテーマにした異業種交流会「アジアの会」(大阪)。
今年度も下記のとおり定例開催いたしました。

(ｉ) 第５６回開催　(H29.5.25)

講師には、小池武氏(JICAｱｶﾃﾞﾐｯｸｱﾄﾞﾊﾞｲｻﾞｰ)をお招きして、
「ミャンマー人材開発の最近事情」
と題してご講演いただきました。
(参加者:24 名)

(ⅱ) 第５７回開催　(H29.8.24)

追手門大学教授・近藤伸二氏を
講師にお招きして開催。
テーマは**「米中台　現代三国志」**(参加者:21 名)

(ⅲ) 第５８回開催　(H29.11.22)

ネパール商工会議所日本名誉代理
のディネス・シュレスタ氏に講師を
お願いして開催。
テーマは**「普段聞けないネパール
の話」**(参加者:23 名)

(Ⅳ) 第５９回開催　(H30.2.22)

講師に今井千晶氏(済生会中津
病院・看護師)をお迎えして開催。
世界各国をバックパッキングで
まわり歩いた体験から、
「アジアの旅と暮らし」と題して
ご講演をいただきました。
(参加者:16 名)

④「親子体験学習～新江ノ島水族館見学」の実施

◆小学生を対象とした、親子で一緒に体験を通して学ぶ「親子体験学習」。
今年度も新江ノ島水族館のご厚意により、下記のとおり多くのご家族の参加を得て実施いたしました。

（ｉ）「２０１７親子体験学習」開催 ――――――――――――（H29.10.15）

今年も「新江ノ島水族館」において海の生き物とのふれあいを体験。
直接触れて新しい発見に出会い、また、普段は見ることができない水族館の裏側を見学するバックヤード・ツアーなどを見学。（参加者：8家族27名）

【４】支援（後援）活動 ……

①「東日本大震災復興支援イベント」

（ｉ）「忘れない、3.11　VOL.7」開催（後援） ――――――――――（H30.3.12）

東日本大震災被災地復興支援イベントが、「幸福の黄色いバンダナの会」の主催で、今年もパソナグループ本部で開催されました。
当日は 180 名の参加者によって、多くの義捐金を送ることができました。

Ⅱ．社会啓発事業

【1】「第9回若者力大賞」表彰式実施 …… （H30.2.21）

◆今年度で第 9 回目を数える「若者力大賞」。今回も 70 名を超す多くの候補者の推薦が寄せられ、その中から、5 組（6 名）の受賞者（下記・敬称略）を決定。
その栄えある表彰式が、**H30 年 2 月 21 日、東京・六本木の「ハリウッド・プラザ」**で行われました。（参加者：190名）

＜若者力大賞＞ サヘル・ローズ （女優・モデル） 32 歳
＜ユースリーダー賞＞ 堀江 敦子 （スリール 代表） 32 歳
矢田 明子 （CommunityNurceCompany 代表） 37 歳
＜ユースリーダー支援賞（個人）＞
小杉 周水 （音楽家） 41 歳
＜ユースリーダー支援賞（団体）＞
株式会社リバネス （代表 丸幸弘／高橋修一郎）

（上）記念写真 （右）サヘル・ローズさんと三村会長

過去の受賞者も交えてカンパーイ！

池本修悟実行委員長から審査経過説明

【2】「第2回若者力大賞受賞者講演会」開催 ･････････････････････････ （H29.12.14）

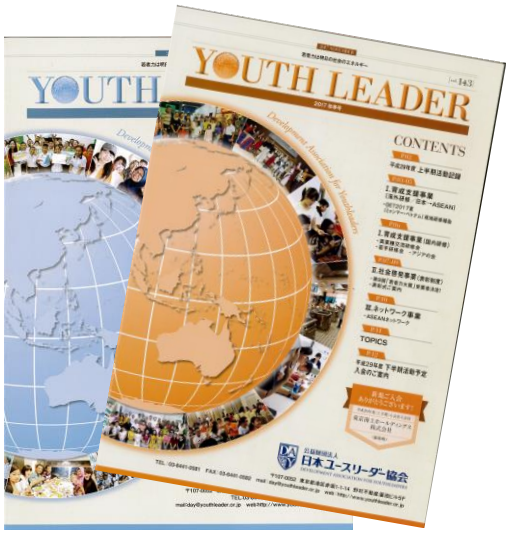
◆毎回、表彰式での受賞者のコメントに感動を与えてもらっています。
そうした彼らの活動を、もっと多くの人々に知ってもらいたい。そして、受賞後も活動に取り組む彼らを少しでも支える力になっていただきたい。
そう願って、過去の受賞者による講演会を昨年度から開催しています。

第2回目の講演会は、東京海上ホールディングス会議室をお借りして、
①ACE・岩附由香さん（第8回受賞）
②チャリティーサンタ・清輔夏輝さん（第5回受賞）
③ブリッジフォースマイル・菅原亜弥さん（第4回受賞）
そして司会役に、④家本賢太郎さん（クララオンライン社長）（第2回受賞・当協会理事）の 4 名によるパネルディスカッション形式で行われました。（参加者：71 名）
テーマは「次世代の子どもたちの未来のために」

【3】広報活動 ･･･

＜会報誌(YOUTHLEADER)の発行＞
〇発行：(No.142)H29 年 5 月
〇発行：(No.143)H29 年 11 月

＜協会ホームページでの情報提供＞
〇https://www.youthleader.or.jp
〇https://day-get.com/



Ⅲ．海外交流ネットワーク事業

【1】「AJAFA-21」（ASEAN 交流団体）との交流活動

◆かつて日本で研修（JICA 青年研修）を受けた ASEAN からの研修生は、これまでに2万人を超し、帰国後彼らはそれぞれの国で同窓会を組織して、お互いの交流と、次に続く若者たちの育成に取り組んでいます。
当協会は、その横断的な連携組織「AJAFA-21」（ASEAN-Japan Friendship Association for the 21st Century）の一員として交流を毎年続け、ASEAN 諸国とのネットワークづくりに取り組んでいます。

「AJAFA－21」：設立：1988年。
ﾌﾞﾙﾈｲ・ｶﾝﾎﾞｼﾞｱ・ｲﾝﾄﾞﾈｼｱ・ﾗｵｽ・ﾏﾚｰｼｱ・ﾐｬﾝﾏｰ・ﾌｨﾘﾋﾟﾝ・ｼﾝｶﾞﾎﾟｰﾙ・ﾀｲ・ﾍﾞﾄﾅﾑの、ASEAN10 ヶ国の OB 会の連携組織。
そこに日本代表として当協会が正式メンバーとして参加しています。

（ｉ）「23rd RLF（Regional Leaders Forum）」（ﾍﾞﾄﾅﾑ）の協力 ――― （H29.12.1-4）

AJAFA-21 が発足して 2 年後の 1990 年、ASEAN 各国の若者たちが集いあう初めてのユース・フォーラム（現在：ＲＬＦ）が、ｼﾝｶﾞﾎﾟｰﾙで開催され、その後毎年、各国持ち回りで開催を続けています。
通算第 23 回目となる今年度は、12/1-4 の 4 日間、ベトナム・ホーチミンで開催されました。

（ii）「30th ECM（Executive Council Meeting）」（ﾐｬﾝﾏｰ）への参加 ―― （H30.3.16-19）

AJAFA-21 の各国代表者が集まって毎年開催される代表者会議（ECM）が、2018. 3. 16-19 の 4 日間、ミャンマー・ヤンゴンで行われました。
会議では、設立 30 年（1988 設立）を契機にさらなる活動の活性化に向けた議論が交わされました。

（iii）「テレビ会議（TV　Conference）」の実施

AJAFA-21 は、2009 年から参加各国の JICA 施設を利用し、テレビ中継を通して、お互いの活動報告や情報交換を行っています。
今年度は下記の 3 回にわたって実施しました。

1）第 32 回「テレビ会議」(H29.6.1)　（JICA本部＋各国JICA現地事務所）
2）第 33 回「テレビ会議」(H29.9.14)　（　〃　）
3）第 34 回「テレビ会議」(H29.12.14)（　〃　）

（iv）「JAAM（ﾐｬﾝﾏｰ）会長来訪」 ―――――――――――――― （H30.2.27）

「JAAM（ﾐｬﾝﾏｰ同窓会）」の Aung Din 会長が、さくらサイエンスプランでの引率で来日。（7 ページ参照）
移動の合間を縫って、協会事務所を訪問されました。ちょうど 2 月度の運営幹事会開催日で、井上理事長以下、幹部の面々とご挨拶ができました。

（v）「JAAP（ﾌｨﾘﾋﾟﾝ）訪日視察団」受け入れ ―――――――― （H30.3.25-31）

各国 Almuni（同窓会）から、
訪日視察団の受け入れ希望が寄せられる中、フィリピン（JAAP）からの視察団（5 名）が来日。
3/25-31 まで、防災をテーマにして、神戸を拠点に関西エリアの視察をアテンドしました。

Ⅳ. 管理運営

【1】評議員会・理事会・運営幹事会の開催

＜平成 29 年度　役員会開催記録＞

(1)評議員会
日時:平成 29 年 5 月 22 日(月)
場所:芝パークホテル(以下同じ)
議題:H28 年度事業・決算の承認
新理事の選任

(2)第 1 回理事会
日時:平成 29 年 4 月 25 日(火)
議題:H28 年度事業・決算承認

(3)第 2 回理事会
日時:平成 29 年 5 月 22 日(月)
議題:業務執行理事(副理事長)の選任

(4)第 3 回理事会
日時:平成 29 年 10 月 30 日(月)
議題:H29 年度上半期中間報告

(5)第 4 回理事会
日時:平成 30 年 3 月 26 日(月)
議題:H30 年度事業計画・収支予算承認

＜平成 29 年度　運営幹事会開催記録＞

★運営幹事会委員:井上理事長・伊庭副理事長・吉田常務理事・加藤常務理事
野村理事・阪本理事(委員長)・小笠原理事(委員長)
小室理事・谷中監事・池本委員長

(1)第 1 回運営幹事会
日時:平成 29 年 5 月 16 日(火)
場所:協会事務局(以下同じ)
議題:資金繰り、委員会報告、評議員会議題の件

(2)第 2 回運営幹事会
日時:平成 29 年 6 月 20 日(火)
議題:資金繰り、委員会報告の件

(3)第 3 回運営幹事会
日時:平成 29 年 7 月 19 日(水)
議題:資金繰り、委員会報告、法人会員動向の件

(4)第 4 回運営幹事会
日時:平成 29 年 9 月 15 日(金)
議題:資金繰り、委員会報告、第 3 回理事会議題、GET 実施報告の件

(5)第 5 回運営幹事会
日時:平成 29 年 10 月 19 日(金)
議題:資金繰り(上半期収支)、委員会報告、大賞最終候補者決定の件

(6)第 6 回運営幹事会
日時:平成 29 年 11 月 10 日(金)
議題:資金繰り、委員会報告の件、50 年史作成の件

(7)第 7 回運営幹事会
日時:平成 29 年 12 月 20 日(水)
議題:資金繰り、委員会報告、30 年度評議員会日程の件

(8)第 8 回運営幹事会
日時:平成 30 年 1 月 29 日(月)
議題:資金繰り、委員会報告、
H30 年度計画検討の件(①)

(9)第 9 回運営幹事会
日時:平成 30 年 2 月 27 日(火)
議題:資金繰り、委員会報告、
H30 年度計画検討の件(②)

(10)第 10 回運営幹事会
日時:平成 30 年 3 月 19 日(月)
議題:資金繰り、委員会報告、H30 年度計画検討の件(最終)

＜平成 29 年度　月次会計監査記録＞

毎月、谷中税理士(監事)による月次会計監査を行いました。

(4 月分)29.5.16　(5 月分)29.6.20　(6 月分)29.7.19　(7 月分)29.8.19
(8 月分)29.9.15　(9 月分)29.10.19　(10 月分)29.11.10　(11 月分)29.12.20
(12 月分)30.1.29　(1 月分)30.2.27　(2 月分)30.3.19　(3 月分)(→決算へ)

【2】会長サロンの開催

「第 6 回 （平成 29 年度）会長サロン」開催 ―――――――――― （H29.11.13）

法人会員の代表者の皆様方と、三村会長、西尾副会長を囲む懇談会:「会長サロン」を、11 月 13 日（月）に芝パークホテルにおいて開催いたしました。

第 6 回目となる今年度は、14 社の代表者の方々にご参加いただき、昼食をはさみながら、協会活動へのご理解を深めていただきました。
今回は、ゲストとして、第 6 回若者力大賞ユースリーダー支援賞を受賞された岡本正弁護士にご出席いただき、表彰の意義やその後の活動の後押しなどお話をいただきました。

【3】役員の変更

1. 評議員・・・・・（退任）広西　光一氏
2. 理事・・・・・・・（退任）中山　彰氏
   （新任）伊庭　正樹氏／小室誠治氏
3. 執行理事・・・（新任）副理事長:伊庭正樹氏

（※1～2:H29 年度評議員会、 3:H29 年度第 2 回理事会において選任）

【4】会員動向（法人・個人）

◆H30. 3. 31現在

（1）正会員・・・・・・・・・・・・・ 46社（入会1社・退会1社）
（2）維持会員・・・・・・・・・・・ 17社（変動なし）
（3）個人会員・・・・・・・・・・・ 55名（昨年比－5 名）
（4）寄付（10万円超）・・・・ 9名（60 万円）山口育英奨学会
（30 万円）下村朱美氏
（20 万円）程ヶ谷基金
（10 万円）三村明夫氏・西尾進路氏、渡辺順彦氏
久世博之氏、小室誠治氏、鈴木正俊氏

＜参考＞3ヵ年推移（個人会員）

	2017年度	2016年度	2015年度
個人会員（@5,000） 寄付者（@100,000 超）	55名 9名	60名 6名	106名 3名

＜法人会員（50音順）＞ H30.3.31 現在

・㈱アークエース ・旭化成㈱ ・朝日生命保険(相) ・㈱アスム
・㈱アテナ ・アトラ㈱ ・イオン㈱ ・㈱石井鐵工所
・五十鈴㈱ ・㈱一迅社 ・エア・ウォーター㈱ ・NS ユナイテッド海運㈱
・㈱NTT ドコモ ・㈱江ノ島マリンコーポレーション ・岡村製作所㈱
・鹿島建設㈱ ・川崎重工業㈱ ・共英製鋼㈱ ・協材興業㈱
・(財)勤労青少年躍進会 ・山九㈱ ・㈱滋慶 ・(有)J&I
・㈱ジェイエック ・JX石油開発㈱ ・JXTGホールディングス(株)
・新日鉄興和不動産㈱ ・新日鐵住金㈱ ・新日鉄住金エンジニアリング㈱
・新日鉄住金化学㈱ ・新日鉄住金ソリューションズ㈱ ・住友商事㈱
・清和綜合建物㈱ ・大日本土木㈱ ・(社)中部産業連盟
・東京海上ホールディングス㈱ ・東京海上日動火災保険㈱ ・東京商工会議所
・東銀リース㈱ ・トピー工業㈱ ・㈱日清製粉グループ本社 ・日鉄住金鋼板㈱
・日鉄住金ドラム㈱ ・日鉄住金物産㈱ ・㈱NIPPO ・㈱ニヤクコーポレーション
・日本エマージェンシーアシスタンス㈱ ・日本ケミファ㈱ ・㈱日本政策投資銀行
・㈱乃村工藝社 ・阪和興業㈱ ・東日本電信電話㈱ ・㈱フレンド
・㈱マーキュリアインベストメント ・㈱みずほ銀行 ・三谷産業㈱
・三井物産㈱ ・三井不動産㈱ ・三井不動産レジデンシャル㈱
・㈱三菱ケミカルホールディングス㈱ ・三菱地所㈱ ・(学)メイ・ウシヤマ学園
・㈱メタルワン

【5】内閣府・立ち入り検査

◆今年度は実施はありませんでした。

事業報告における附属明細書

平成 29 年度事業報告においては、「一般社団法人及び一般財団法人に関する法律施行規則」第 34 条第 3 項に規定する附属明細書「事業報告の内容を補足する重要な事項」が存在しないため作成しない。

平成 30 年 3 月

公益財団法人　日本ユースリーダー協会

東京都港区赤坂１－１－１４　野村不動産溜池ビル
公益財団法人日本ユースリーダー協会
ＴＥＬ：０３－６４４１－０５８１
Email：day@youthleader.or.jp